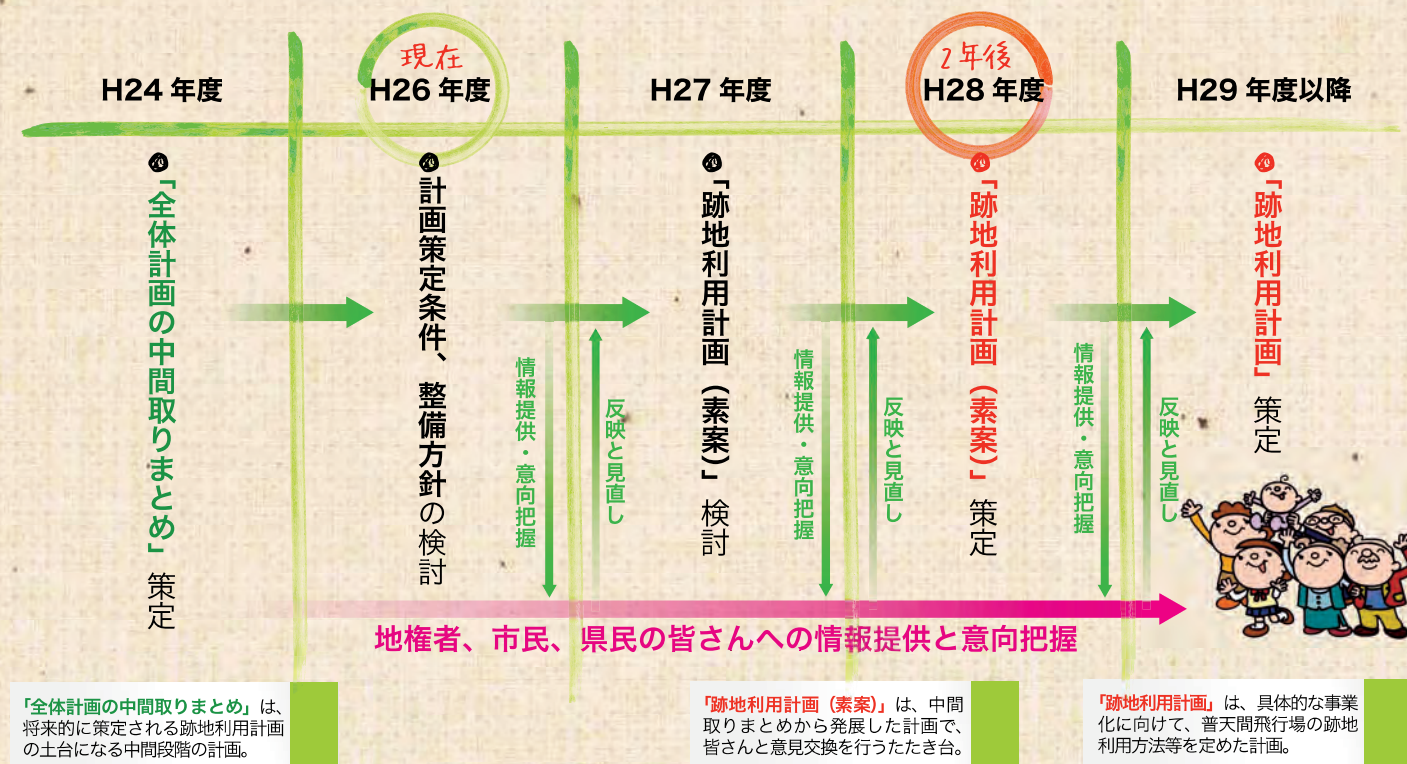


平成 28 年度に跡地利用計画の素案が 取りまとめられる予定です！

本誌の表面でご紹介したとおり、沖縄県と宜野湾市は、平成 25 年 3 月に「全体計画の中間取りまとめ」を策定しました。今後は、平成 28 年度を目途に、跡地利用計画の素案が取りまとめられます。計画策定に向けては、地権者、市民、県民の皆さんへの継続的な情報提供と意向把握を行いますので、ご協力お願い致します。



字別に地主会役員と跡地利用を語る！ 「若手の会」が活発な活動を展開！

「普天間飛行場の跡地を考える若手の会（通称：若手の会）」は「普天間飛行場跡地のまちづくりを成功させるためには、若い世代が主体的に考え、行動していくことが重要」との地主会等からの要請・期待を受けて平成 14 年に発足した組織です。

今年度は、毎月 1 回の定例活動（第 2 火曜日の午後 7 時 30 分から宜野湾市役所で開催）に加え、自主的な活動にも力を入れており、その一つとして昨年度に引き続き、字別に地主会役員の方々と普天間飛行場の跡地利用に関する意見交換会を行っています（今年度は神山地区、昨年度は、新城、大山、宜野湾地区で開催）。

今後も自主活動の一環として、「若手の会」が各字を回り、意見交換会を開催していく予定です。



普天間 若手の会

検索

「若手の会」では、Blog や Facebook で日頃の活動を公開しています！ぜひチェックしてみてください！
←こちらはブログの QR コードです！

【地権者支援情報誌「ふるさと」発行元】

宜野湾市役所 基地政策部 まち未来課

〒901-2710 沖縄県宜野湾市野嵩一丁目 1 番 1 号

電話 098-893-4401（直通）FAX 098-892-7022

普天間飛行場跡地利用に係る情報は、宜野湾市ホームページや情報提供窓口（宜野湾市基地政策部まち未来課）でも提供しております。情報収集や跡地利用に係る要望・ご意見を述べる場としてお気軽にご活用ください。



ふるさと

vol.40

2015 March
3月 発行

宜野湾市基地政策部まち未来課

地権者支援情報誌「ふるさと」では、普天間飛行場跡地利用に係る最新情報をお伝えします。



未来の普天間飛行場跡地は、 こんなまちにしようと考えています！

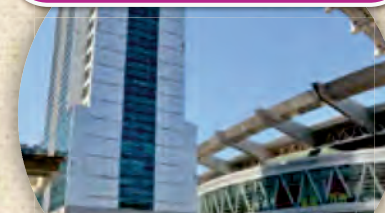
沖縄県と宜野湾市では共同で普天間飛行場跡地のまちづくりの検討を進めており、平成 25 年 3 月に普天間飛行場跡地利用計画の策定に向けた「全体計画の中間取りまとめ」を策定しました。未来の普天間飛行場のまちづくりに向けては、これからも地権者や市民、県民の皆さんの意見を聞きながら更に進化させていきます。

振興拠点ゾーン



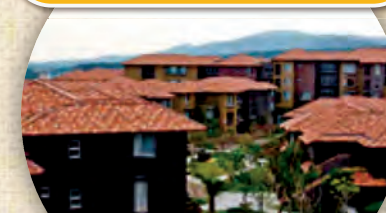
沖縄の自立的発展に
つながる

都市拠点ゾーン



人が集う 快適で
魅力的な都市をつくる

住居ゾーン



沖縄の気候風土に合った
風景と生活環境をつくる

「全体計画の中間取りまとめ」 概要紹介

平成 25 年 3 月に、沖縄県と宜野湾市が共同で策定した「全体計画の中間取りまとめ」をご紹介します。今後はこの「全体計画の中間取りまとめ」をベースに平成 28 年度に跡地利用計画の素案を取りまとめる予定です。

沖縄らしい「緑・水、歴史・文化」と国際的な「新しい都市」をひとつにしたまち



「緑の中のまち」をつくる

これまでの調査の結果、普天間飛行場には自然（緑地や地下水脈）や歴史・文化等の多くの資源が残っていることがわかっています。普天間飛行場の跡地利用に向けては、それらの資源をひとつにし、「特色のある環境」を生み出すために、大規模公園を中心に「緑の中のまち」をつくります。

大規模公園を中心とした「緑の中のまち」をつくる

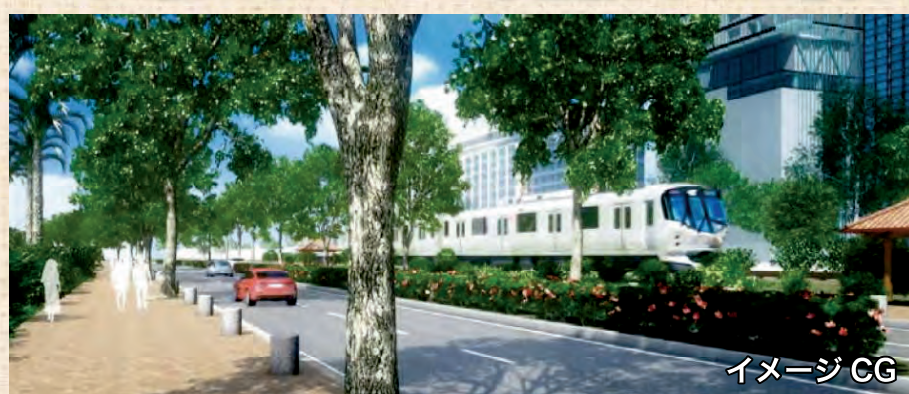


まちがつながる



道がつながる

これまで市の真ん中にあった普天間飛行場の跡地利用が進むことにより、道路がつながり交通の便が良くなるだけでなく、水と緑がつながることで良好な環境や景観が形成されます。これにより、地域全体がひとつの都市となり、高度な都市機能を持つ 100 万都市が形成されることとなります。



人々が集まるまちができる

振興拠点ゾーン



沖縄の自立的発展につながる

産業 医療・生命科学
環境・エネルギー
リゾートコンベンション
機能 国際協力・貢献
研究開発、広域防災など

都市拠点ゾーン



人が集う 快適で魅力的な都市をつくる

商業 ショッピングモール
ホテル・駅
利用 行政・教育・文化
医療・福祉など

住居ゾーン



沖縄の気候風土に合った風景と生活環境をつくる

風景 「旧集落」の空間再生
生活 多様なライフスタイルなど